屋外用熱対策通信キャビネット
ファン仕様　RCP-Y-F、RCP-T-F、RCJ-Y-F type 取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
（この説明書は、必ず保管しておいてください。）

もくじ

安全上のご注意 …… P.1
■施工上のご注意 …… P.1
■吊上げ時のご注意 …… P.2
■換気扇付ステンレス製ルーバーに対する施工上のご注意 …… P.2
■使用上のご注意 …… P.3
■換気扇付ステンレス製ルーバーに対する使用上のご注意 …… P.3
■ファンに対するご注意 …… P.4
■各部の名称 …… P.4
●キャビネット …… P.4
●換気扇付ステンレス製ルーバー …… P.5
●付属品 …… P.5
■仕様 …… P.5
●キャビネット …… P.5
●換気扇付ステンレス製ルーバー …… P.6
■設置方法 …… P.7
■吊上げ方法 …… P.7
●ポール用（RCP） …… P.7
●自立用（RCJ） …… P.7
■取付方法 …… P.8
●ポール用（RCP） …… P.8
●自立用（RCJ） …… P.8
■遮光板の取外方法 …… P.9
■マウントアングル・マウントレールの前後移動について …… P.9
●移動方法 …… P.9
■可変式温度調節器（PTV-M61A） …… P.10
●故障と判断される前に …… P.10
■換気扇付ステンレス製ルーバーの保守点検 …… P.10
●フィルタの交換方法 …… P.10
●フィルタの清掃方法 …… P.12
●ファンの交換方法 …… P.12
■オプション …… P.12

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この説明書では、安全注意事項のランクを「警告」「注意」として区分してあります。

⚠警告	回避しないと、死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
⚠注意	回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害のみの発生するおそれがある場合を示します。

- お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

⃠ してはいけない内容です。

❗ 実行しなければならない内容です。

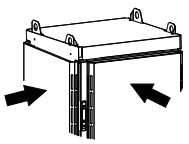
なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■施工上のご注意

⚠警告

アースせよ	接地端子を利用して、アース接続を必ず行ってください。感電の原因になります。	❗	ポール用製品【RCP】の装柱には、十分な強度のあるポールなどに確実に固定してください。落下・けが・機器の故障の原因になります。
⃠	キャビネットの天井面を足場にして作業しないでください。キャビネット、遮光板が変形し、落下・けがの原因になります。		電気工事（取付、施工）は有資格者が行ってください。故障・感電・けがの原因になります。
❗	ポール用製品【RCP】の装柱には、必ずオプション「冷キャビ用・ポール用金具【RCPX-Y（T）】」を使用してください。落下・けが・機器の故障の原因になります。また、側面の取付穴より水が浸入し、故障・感電・火災の原因になります。		電気工事は「電気設備技術基準」および「内線規程」を厳守し、必ず専用の電源回路としてください。故障・感電・けがの原因になります。
			電線接続の際、端子ねじは確実に締付けてください。発熱・火災の原因になります。

⚠注意

⃠	自立用製品【RCJ】をポール取付けしないでください。下側からキャビネット内部に水が浸入し、機器の故障・けがの原因になります。	⃠	遮光板には、手で押す、よりかかるなどの力を加えないでください。変形するおそれがあります。 
	機器取付けの際、搭載可能質量を超えて取付けないでください。マウントユニットまたはマウントアングルが変形し、機器の落下・故障・けがの原因になります。（キャビネットへの取付機器の搭載可能質量は、P.5 ～ 6「■仕様」を参照）		下面開口プレートに機器や物を載せたり、人が乗らないでください。下面開口プレートの変形やけがの原因になります。

⚠注意

本製品に落下などの強い衝撃を与えないでください。
衝撃によりへコミや歪みが発生し、強度の低下の原因になります。

積雪時に本製品が埋没しない場所、高さに取付けてください。故障・換気能力低下・所定の IP 性能が得られないなどの原因になります。

使用するねじは指定されたものを使用してください。
取付けに際して、ねじを適正締付トルクにて締付けてください。ねじの締付けが不十分な場合、落下・破損・所定の IP 性能が得られないなどの原因になります。
また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m※
M5	1.8 ～ 2.9
M6	2.9 ～ 4.4

※但し、S タイトねじにおいて締付時の初期トルクはこの限りではありません。

設置の際は、遮光板固定部を必ず増締めしてください。
締付けが不十分な場合、遮光板の脱落などによりけがのおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M5	1.8～2.9
M6	2.9～4.4

機器取付の際、重量物は低い位置に設置し、重心位置を低くしてください。転倒の原因になります。

キャビネット本体が水平に設置できるようにレベル調整を行ってください。ドアの開閉や機器の搭載に支障をきたすおそれがあります。

設置を行う際は、必ず 2 人以上で作業を行ってください。
けがの原因になります。

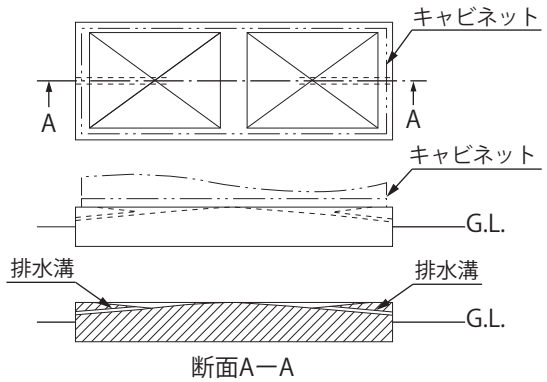
コンクリート基礎と基台の間にコーキング処理はしないでください。キャビネット内部に雨水などが溜まり、結露や錆の原因になります。

自立用製品【RCJ】は水平な床面に設置してください。
床面が水平でないとドアがひずみ、IP 性能を保持することができなくなり、機器の故障・けがの原因になります。

自立用製品【RCJ】のアンカーボルトは必ず M12 を使用してください。転倒・破損・機器の故障やけがの原因になります。

自立用製品【RCJ】は所定のアンカーボルト以外にも必要に応じ転倒防止などの処理を行ってください。機器の故障・けがの原因になります。

自立用製品【RCJ】は内部に雨水が溜まるのを防ぐため、コンクリート基礎に排水溝を設けてください。また、排水溝の流出口には金網を張るなどして小動物の侵入を防止してください。機器の故障の原因になります。



断面A－A

排水溝施工の一例

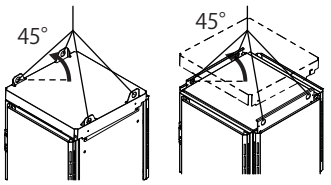
工事完了後は、引込口・排気口の周囲より漏水のないように配慮してください。また、漏水により内部に雨水が溜まると、機器の故障の原因になります。

■吊上げ時のご注意

⚠注意

本製品を施工用金具などと連結した状態での吊上げ作業は行わないでください。
変形・落下・けがの原因になります。

本製品を吊上げる場合には、キャビネットの吊り金具にて4ヵ所で吊上げ、45°以上の角度で均一な荷重にしてください。2ヵ所での吊上げや45°未満の吊上げ角度・吊上げ可能質量オーバー・吊り金具を使用しない吊上げ（本体に直接ワイヤー、スリングを掛けての吊上げなど）は落下・破損の原因になります。
吊上げ可能質量：182kg
（キャビネット本体質量含む）



■換気扇付ステンレス製ルーバーに対する施工上のご注意

⚠警告

分解禁止

分解、改造や本体へ穴開けなどの二次加工はしないでください。故障・感電・けがの原因になります。

電源には漏電ブレーカ（定格電流 5A 以上、感度電流 30mA 以下）を取付けてください。故障・感電の原因になります。

電源線がファンに巻込まれないように、結束バンドなどで固定してください。故障・感電の原因になります。

■使用上のご注意

⚠警告

本製品の故障が原因で人命並びに社会的に重大な影響を与えるおそれがある場所（医療関係、航空宇宙関係など）には使用しないでください。

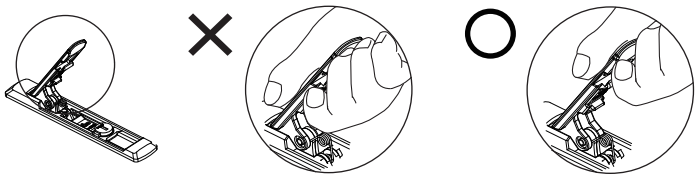
次のような場所では使用しないでください。
故障・感電・火災の原因になります。
・可燃性ガスのある場所
・可燃性ガスが漏れるおそれのある場所
・常時高湿となる場所　・有機溶剤のかかる場所
・腐食性ガスのある場所
・導電性粉塵（カーボン繊維、金属粉）のある場所

長期間の使用で取付部（ねじ、ナット）などの傷みやゆるみがないか、定期的に点検してください。傷みがある場合は交換し、ゆるみがある場合は適正締付トルク値にて増締めしてください。破損・落下・所定の IP 性能が得られないなどの原因になります。

⚠注意

指に注意

ハンドルを閉める際は、指を挟まないでください。
けがの原因になります。



ドアを勢いよく閉めないでください。
指を挟みけがの原因になります。

ハンドルのシリンダーにキーを差した状態で、キーに強い衝撃や荷重を掛けないでください。キーの変形・破損の原因になります。

ハンドルの施錠・解錠する頻度が多い場合は、キー・シリンダーに定期的に鍵用潤滑剤を塗布してください。
キーの抜差しが硬くなるおそれがあります。

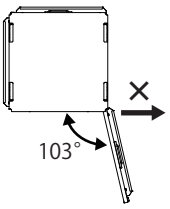
製品の上に乗ったり、物を載せたりしないでください。
キャビネット、遮光板が変形し、落下・けがの原因になります。

次のような場所では使用しないでください。
故障・誤動作の原因になります。
・使用温度範囲外となる場所
・振動、衝撃のある場所
・塩分を多く含んだ場所
・極度に塵埃やオイルミストが多い場所
・ノイズ（電界、磁界）の強い場所

シリンダーの施錠位置あるいは解錠位置以外では、キーを無理に引抜かないでください。
キー・シリンダーの破損の原因になります。

強風下ではドアを開けた状態で作業を行わないでください。強風にあおられ、ドア・遮光板およびドアストッパの変形・破損の原因になります。

ドアの開閉角度は約 103°です。
ドアを開けた状態で右図の矢印方向にさらに荷重を掛けないでください。
蝶番部およびドアの変形・破損の原因になります。



ドア開放時には必ずボデー下に設置されているドアストッパをドアに掛けてドアを固定してください。ドアが閉まり、けがの原因になります。

■換気扇付ステンレス製ルーバーに対する使用上のご注意

⚠警告

感電注意

感電のおそれがあります。
・通電中は電源線に触らないでください。
・清掃や保守点検時は必ず電源を OFF にし、電源の供給を止めてください。

ぬれ手禁止

濡れた手で操作しないでください。
故障・感電の原因になります。

保守点検は専門知識を有する人が定期的に行ってください。故障・感電・けがの原因になります。

定格電圧でご使用ください。使用電圧は定格電圧の ±10% 以内です。電源電圧が変動した場合でも使用電圧を超えないようにしてください。故障・感電・火災の原因になります。

異常時（焦臭いなど）は電源を OFF にし、運転を停止してください。感電・火災の原因になります。

⚠注意

ファンは精密機器ですので振動・衝撃などを与えないでください。
故障の原因になります。

使用するねじは指定されたものを使用してください。
取付けに際して、ねじを適正締付トルクにて締付けてください。
ねじの締付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。
また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N·m
ルーバー取付ねじ M4×8	1.5 ～ 1.8
ファン取付ねじ M4×50	
取付ナット M6	

■ファンに対するご注意

⚠注意

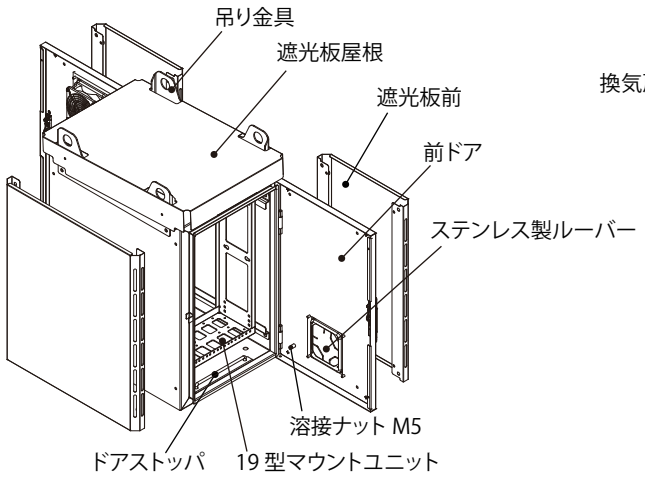
回転物注意

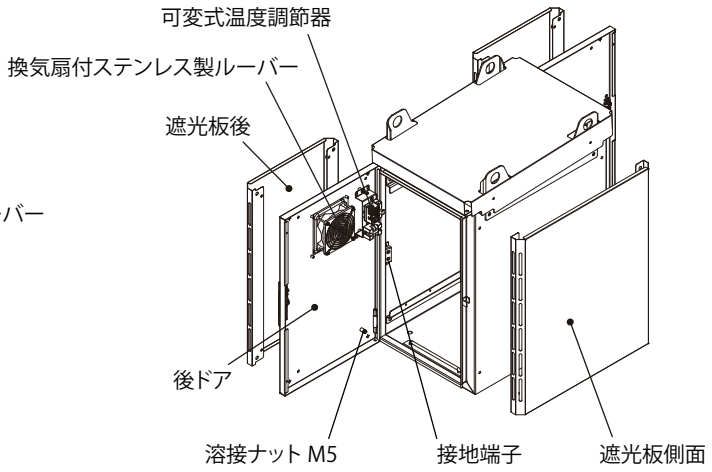
けがのおそれがあります。
- ルーバー、フィンガーガードを外したまま運転しないでください。
- ファン回転部に指や異物などを絶対に入れないでください。
- 保守点検時はファン動作を点検する場合を除き、必ず電源を OFF にし、ファンの羽根の回転が停止してから行ってください。

■各部の名称

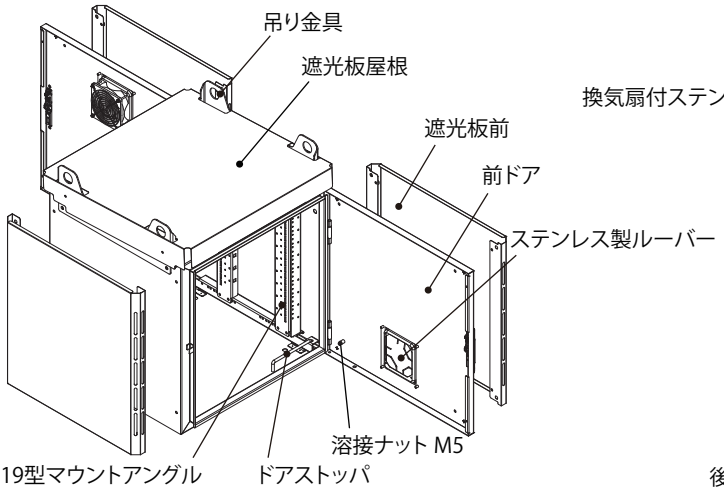
●キャビネット

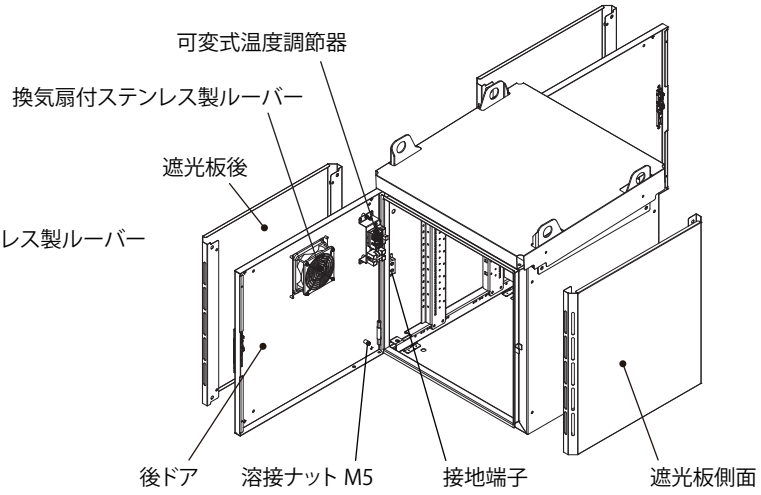
【ポール用・19 型タテ置きタイプ（RCP-T-F）】



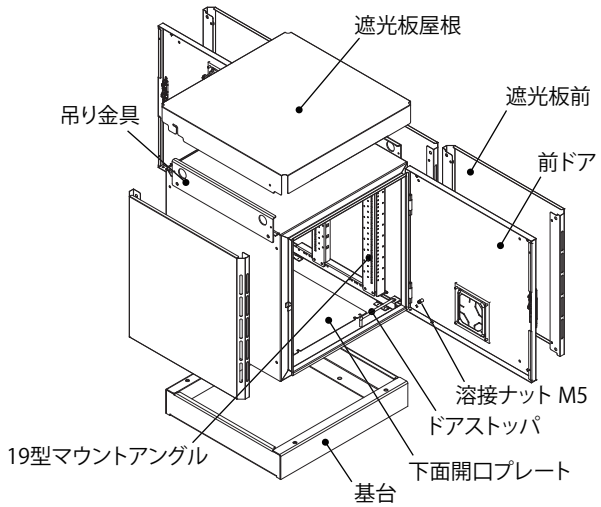


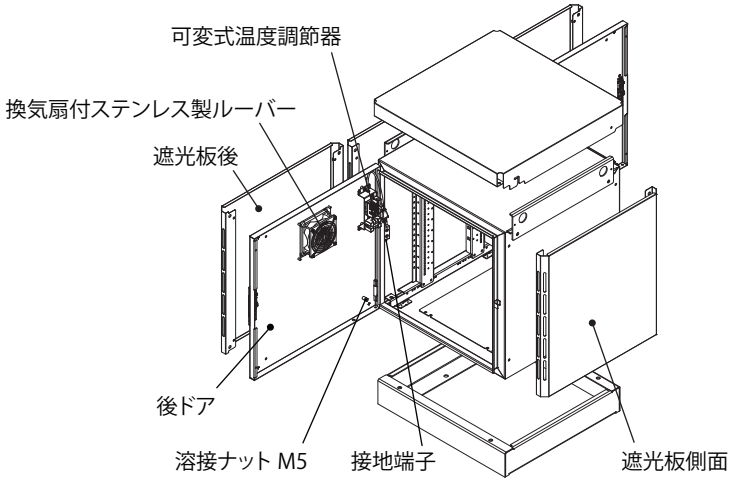
【ポール用・19 型ヨコ置きタイプ（RCP-Y-F）】



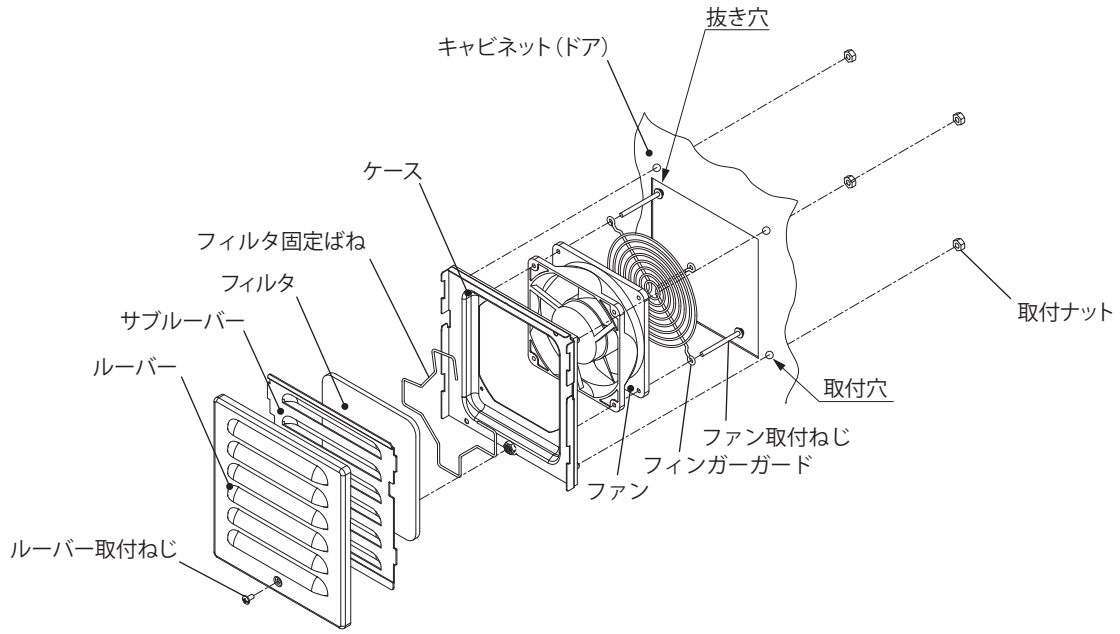


【自立用・19 型ヨコ置きタイプ（RCJ-Y-F）】





●換気扇付ステンレス製ルーバー



ご注意　前ドアのステンレス製ルーバー（SLS-17BF）には、ファン、フィンガーガード、ファン取付ねじを使用していません。

●付属品

名称	数量
キーセット（キーNo.200）	1セット（キー2コ）
砂入りガラス管ヒューズ3A	1コ
屋根注意ラベル	1枚
取扱説明書（本紙）	1部

全機種同じ内容になります。

■仕様

●キャビネット

【ポール用・19型タテ置きタイプ（RCP-T-F）】

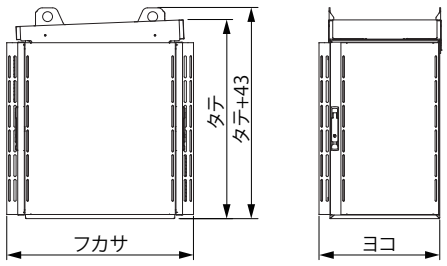
屋外用　IP44 ※1

品名記号	外形寸法 mm			取付可能ユニット	搭載可能熱量 W※2	搭載可能質量 kg	製品質量 kg	摘要
	ヨコ	タテ	フカサ					
RCP60-465T-F1N	440	725	680	6U	105	30	44.5	・ステンレス製ルーバー（SLS-17BF×2コ）付 ・防湿型換気扇（排気用×1コ）付 ・可変式温度調節器（PTM-M61A）付 ・プラグ付電源コード付

※1. IP（防塵・防水）性能は、IEC 規格 60529 に基づく試験によるファン停止時の性能です。当社判定基準による評価結果です。
※2. 搭載可能熱量は、キャビネット外温度 35℃、キャビネット内許容温度 45℃での日射の影響を考慮した計算値（目安）です。

【外形寸法図】

（単位：mm）



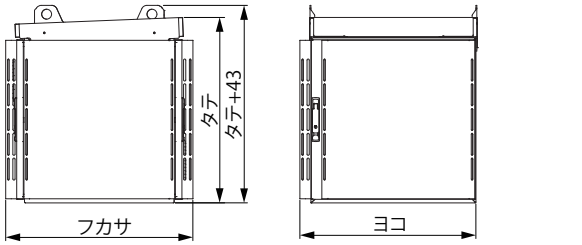
【ポール用・19型ヨコ置きタイプ（RCP-Y-F）】

屋外用　IP44 ※1

品名記号	外形寸法 mm			取付可能ユニット	搭載可能熱量 W※2	搭載可能質量 kg	製品質量 kg	摘　要
	ヨコ	タテ	フカサ					
RCP60-66Y-F1N	640	675	680	10U	90	40	56.5	・ステンレス製ルーバー（SLS-17BF×2コ）付 ・防湿型換気扇（排気用×1コ）付 ・可変式温度調節器（PTM-M61A）付 ・プラグ付電源コード付
RCP60-67Y-F1N	〃	775	〃	13U	100	52	60.5	
RCP60-68Y-F1N	〃	875	〃	15U	110	60	64.5	
RCP60-69Y-F1N	〃	975	〃	17U	115	68	71.0	
RCP60-610Y-F1N	〃	1,075	〃	19U	125	76	77.5	
RCP60-66Y-F2N	640	675	680	10U	175	40	59.0	・ステンレス製ルーバー（SLS-17BF×4コ）付 ・防湿型換気扇（排気用×2コ）付 ・可変式温度調節器（PTM-M61A）付 ・プラグ付電源コード付
RCP60-67Y-F2N	〃	775	〃	13U	185	52	63.0	
RCP60-68Y-F2N	〃	875	〃	15U	195	60	67.0	
RCP60-69Y-F2N	〃	975	〃	17U	205	68	73.5	
RCP60-610Y-F2N	〃	1,075	〃	19U	215	76	80.0	

※1. IP（防塵・防水）性能は、IEC 規格 60529 に基づく試験によるファン停止時の性能です。当社判定基準による評価結果です。
※2. 搭載可能熱量は、キャビネット外温度 35℃、キャビネット内許容温度 45℃での日射の影響を考慮した計算値（目安）です。

【外形寸法図】　（単位：mm）



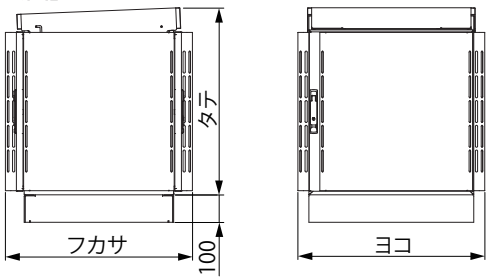
【自立用・19型ヨコ置きタイプ（RCJ-Y-F）】

屋外用　IP44 ※1

品名記号	外形寸法 mm			取付可能ユニット	搭載可能熱量 W※2	搭載可能質量 kg	製品質量 kg	摘　要
	ヨコ	タテ	フカサ					
RCJ60-66Y-F1N	680	681	680	10U	90	40	65.5	・ステンレス製ルーバー（SLS-17BF×2コ）付 ・防湿型換気扇（排気用×1コ）付 ・可変式温度調節器（PTM-M61A）付 ・プラグ付電源コード付
RCJ60-68Y-F1N	〃	881	〃	15U	110	60	73.5	
RCJ60-610Y-F1N	〃	1,081	〃	19U	125	76	86.5	
RCJ60-66Y-F2N	680	681	680	10U	175	40	68.0	・ステンレス製ルーバー（SLS-17BF×4コ）付 ・防湿型換気扇（排気用×2コ）付 ・可変式温度調節器（PTM-M61A）付 ・プラグ付電源コード付
RCJ60-68Y-F2N	〃	881	〃	15U	195	60	76.0	
RCJ60-610Y-F2N	〃	1,081	〃	19U	215	76	89.0	

※1. IP（防塵・防水）性能は、IEC 規格 60529 に基づく試験によるファン停止時の性能です。当社判定基準による評価結果です。
※2. 搭載可能熱量は、キャビネット外温度 35℃、キャビネット内許容温度 45℃での日射の影響を考慮した計算値（目安）です。

【外形寸法図】　（単位：mm）



●換気扇付ステンレス製ルーバー

定格周波数：50/60（Hz）、使用温度、-10 ～ +60℃、使用湿度：95%R.H 以下

定格電圧 単相 V	最大風量※1 m^3/min	最大静圧※1 Pa	定格電流 A	起動電流 A	定格消費電力 W	騒音※2 dB（A）
AC100	0.92/1.06	84/97	0.25/0.22	0.79/0.72	20/18	47/50

※1. 最大風量、最大静圧の測定方法は、ダブルチャンバー方式です。
※2. 騒音は、換気扇付ステンレス製ルーバー単体での数値を示します。
・フィルタは、ポリエステル製、厚さ 12mm、除塵率 80%を使用しています。

■設置方法

・保守点検の容易な場所に取付けてください。
・周囲温度 -10 ～ +60℃の場所に設置してください。

ご注意

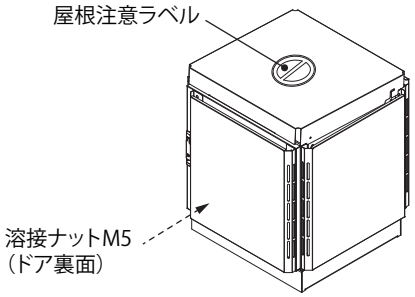
・周囲温度が使用環境温度上限（60℃）を超えない場所でも、輻射熱を直接受ける場所では遮蔽板（断熱材・反射板）を設けてください。また、遮蔽板で換気扇付ステンレス製ルーバーの吸、排気口を塞がないようにしてください。
・設置場所の換気が悪く、換気扇付ステンレス製ルーバーの運転により周囲温度が高くなる場合でも、使用環境温度上限（60℃）を超えないようにしてください。

・内部機器の取付けは、19 型マウントユニットまたはマウントアングルに確実に固定してください。

ご注意

換気扇付ステンレス製ルーバーおよびステンレス製ルーバーの吸、排気口の通風を妨げないように取付け位置に注意してください。換気能力低下の原因になります。

・前後左右とも傾きがないよう（±2° 以下）に、水準器などで確認してください。
・ドアは必要に応じて溶接ナットを利用して接地（アース）してください。
・取付けの際、他の作業者が遮光板屋根を作業足場に使用される可能性がある場合は「屋根注意ラベル（付属品）」を遮光板屋根に貼付けて、作業足場に使用しないように注意を促してください。

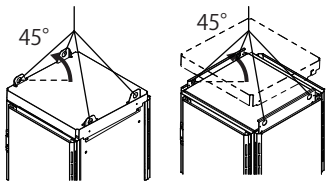


■吊上げ方法

⚠注意

本製品を施工用金具などと連結した状態での吊上げ作業は行わないでください。
変形・落下・けがの原因になります。

本製品を吊上げる場合には、キャビネットの吊り金具にて4ヵ所で吊上げ、45°以上の角度で均一な荷重にしてください。2ヵ所での吊上げや45°未満の吊上げ角度・吊上げ可能質量オーバー・吊り金具を使用しない吊上げ（本体に直接ワイヤー、スリングを掛けての吊上げなど）は落下・破損の原因になります。
吊上げ可能質量：182kg
（キャビネット本体質量含む）



●ポール用（RCP）

吊り金具の穴を用いて製品を吊上げてください。

●自立用（RCJ）

1. 遮光板屋根を取外します。（図 1）
   ①遮光板屋根の固定ねじM5×10（4 ヵ所）を取外してください。
   ②遮光板屋根を取外して吊金具を露出させてください。
2. 吊り金具の穴を用いて製品を吊上げてください。
3. 製品の設置後、遮光板屋根を再度取付けます。（図 2）
   ①傾斜の後側（屋根を低くしたい側）に固定ねじを隙間を 3 ㎜程度残して仮締めしてください。
   ②遮光板屋根の切欠き部をはめ込んでください。
   ③反対側の穴に固定ねじを締付けてください。
   ④仮締めした側の固定ねじを締切ってください。

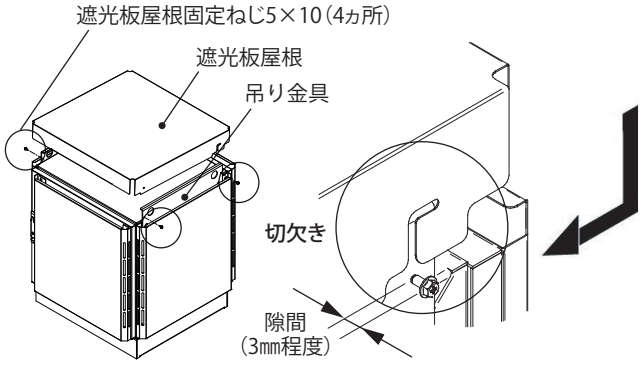


図1　図2

⚠注意

取付けに際して、ねじを適正締付トルクにて締付けてください。
ねじの締付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。
また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M5	1.8～2.9

■取付方法

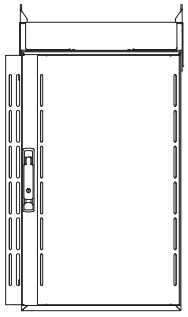
●ポール用（RCP）

⚠警告

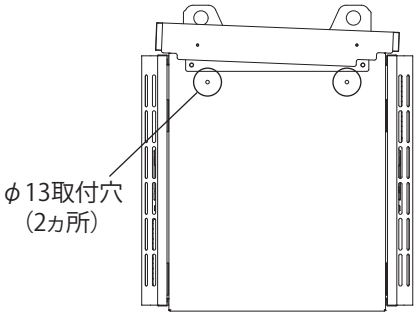
ポール用製品【RCP】の装柱には、必ずオプション「冷キャビ用・ポール用金具【RCPX-Y（T）】」を使用してください。他の設置方法を行った場合、落下・けが・機器の故障の原因になります。また、側面の取付穴より水が浸入し、故障・感電・火災の原因になります。	ポール用製品【RCP】の装柱には、十分な強度のあるポールなどに確実に固定してください。強度が十分でない場合、落下・けが・機器の故障の原因になります。

本製品の装柱用に、オプション「冷キャビ用・ポール用金具【RCPX-Y（T）】」の取付穴があらかじめ加工されています。
取付方法については、「冷キャビ用・ポール用金具【RCPX-Y（T）】」取扱説明書（別紙）を参照してください。

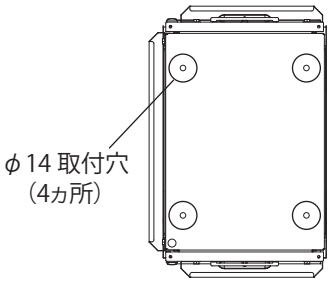
・ボデー右側面：φ13（2ヵ所）
・ボデー底面　：φ14（4ヵ所）



正面



右側面

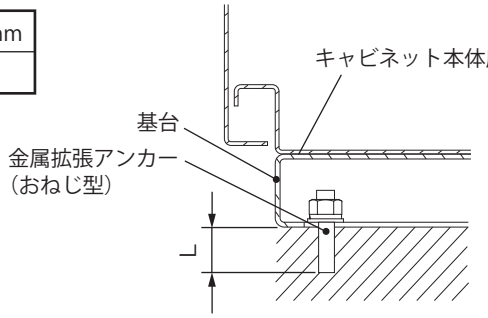


底面

●自立用（RCJ）

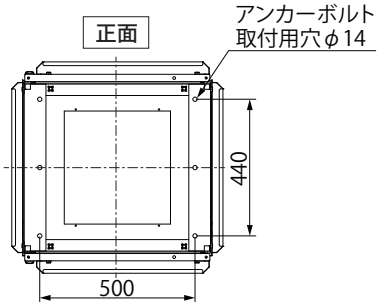
基台底面のアンカーボルト取付用穴φ14（4 ヵ所）に、M12 アンカーボルトで床面に固定してください。

ボルト径	最小埋込深さ L mm
M12	60

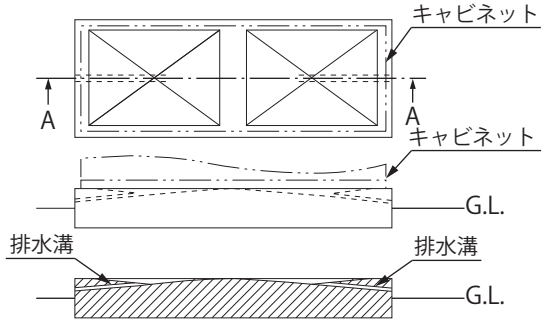


あと施工アンカー施工例

【取付寸法図】　（単位：mm）



⚠注意

下面開口プレートに機器や物を載せたり、人が乗らないでください。下面開口プレートの変形・けがの原因になります。	コンクリート基礎と基台の間にコーキング処理はしないでください。キャビネット内部に雨水などが溜まり、結露や錆の原因になります。
キャビネット本体が水平に設置できるようにレベル調整を行ってください。ドアの開閉や機器の搭載に支障をきたすおそれがあります。 設置を行う際は、必ず 2 人以上で作業を行ってください。けがの原因になります。 自立製品【RCJ】のキャビネットは水平な床面に設置してください。床面が水平でないと扉がひずみ、IP 性能を保持することができなくなり、機器の故障・けがの原因になります。 自立製品【RCJ】のアンカーボルトは必ず M12 を使用してください。地震などで転倒・破損・機器の故障やけがの原因になります。 自立製品【RCJ】は所定のアンカーボルト以外にも必要に応じ転倒防止などの処理を行ってください。転倒防止の処理がされていない場合、機器の故障・けがの原因になります。	自立用製品【RCJ】は内部に雨水が溜まるのを防ぐため、コンクリート基礎に排水溝を設けてください。また、排水溝の流出口には金網を張るなどして小動物の侵入を防止してください。機器の故障の原因になります。  断面A－A **排水溝施工の一例** 工事完了後は、引込口・排気口の周囲より漏水のないように配慮してください。また、漏水により内部に雨水が溜まると、機器の故障の原因になります。

【床面の調整方法】

床面が水平でなく扉にひずみが生じた場合は、スペーサなどにより設置面が水平になるように調整してください。

調整方法

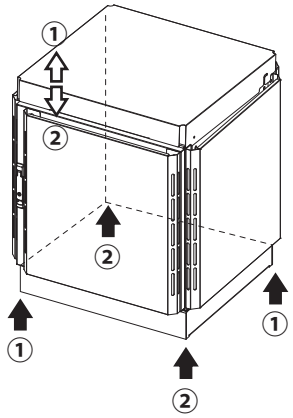
ドアが⇧①の方向にひずんだ時は、

⬆①の箇所のどちらか一方にスペーサなどを入れてください。

ドアが⇩②の方向にひずんだ時は、

⬆②の箇所のどちらか一方にスペーサなどを入れてください。

設置面が水平になるように調整してください。



【オプションパーツのご案内】

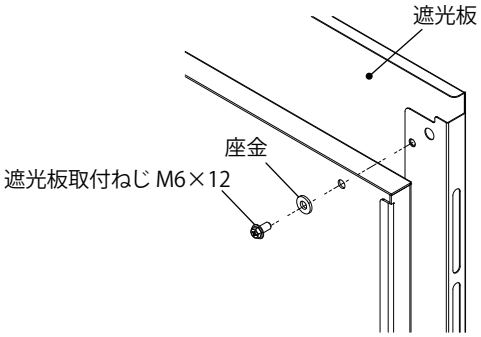
スペーサには、オプションの「基台用スペーサ」をご利用ください。

名称	品名記号	摘要
基台用スペーサ	BP17-10SU	U 字（アンカーボルト用、t1.0）
	BP17-1030S	50mm 角（t3.0）

■遮光板の取外方法

取外しの際は、遮光板が落下しないように手で支えてください。

1. ドアを開け、遮光板取付ねじ M6×12 および座金を取外してください。
2. 再び遮光板を取付ける際は、取外しと逆の手順にて取付けてください。



⚠注意

取付けに際して、ねじを適正締付トルクにて締付けてください。
ねじの締付けが不十分な場合、落下・破損・所定の IP 性能が得られないなどの原因になります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M6	2.9～4.4

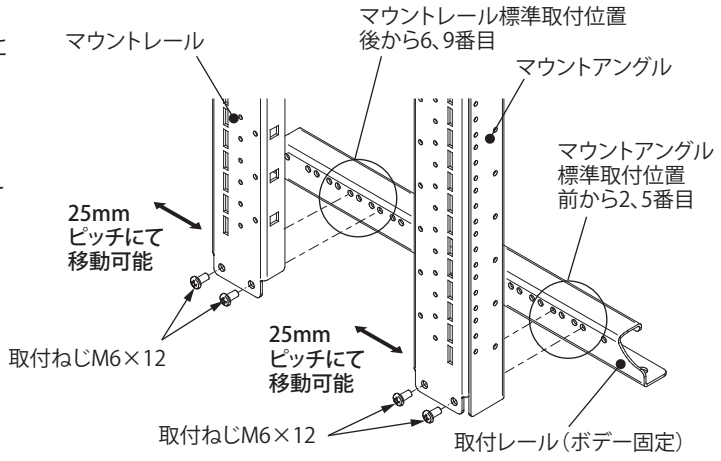
■マウントアングル・マウントレールの前後移動について

●移動方法

1. 取付ねじ M6×12 を取外してください。
2. マウントアングル、マウントレールを移動させたい方向に 25mm ピッチにて移動してください。
3. 取付ねじ M6×12 で取付けてください。

ご注意

マウントアングル、マウントレールは同じ間隔を保って移動してください。ラックオプションの取付けができなくなります。



⚠注意

取付けに際して、ねじを適正締付トルクにて締付けてください。
ねじの締付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。
また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m※
M6	2.9～4.4

※但し、S タイトねじにおいて締付時の初期トルクはこの限りではありません。

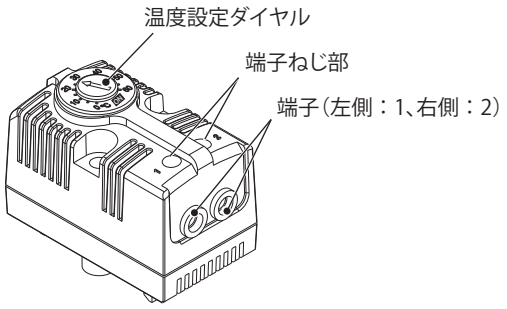
■可変式温度調節器（PTV-M61A）

ファンは、可変式温度調節器により自動運転制御しており、キャビネット内部温度が設定温度になると運転を開始します。

1. 温度設定
   - 可変式温度調節器の温度設定ダイヤルを回すことにより、ファンの運転開始温度設定を変更可能です。
   - 温度設定をする際は温度設定ダイヤルのずれ防止のため、0℃から右回転で温度設定してください。

   ご注意
   - 出荷時の温度設定ダイヤルは、40℃に設定されています。
     運転前に温度設定ダイヤルの設定値（出荷時 40℃）を確認してください。
   - 温度設定ダイヤルの可動部はねじ機構となっているため、ねじの遊びにより設定温度付近で逆回転させた場合、位置が若干ずれる可能性があります。
   - 温度設定ダイヤルは 5℃刻みで表示してありますが、温度設定作業により動作温度のずれが発生しますので、温度公差とは別に温度設定誤差が約 ±1K(℃)(参考値) 生じることがあります。
     また、温度設定ダイヤル部を強く押えると内部機器が変形し、性能を満足しないおそれがあります。
   - 温度設定ダイヤルは 0℃以下、60℃以上に回さないでください。

2. 動作
   可変式温度調節器本体の近傍の温度が設定温度まで上がるとファンが運転し、設定温度より約 7K(℃) 下がると停止します。



可変式温度調節器

●故障と判断される前に

次の項目を調べてください。

ご注意
- 確認は電源を OFF にし、可変式温度調節器を取外して行ってください。
- 端子ねじがゆるんでいる場合は、端子ねじを締めてください。（増締めの推奨トルク：0.5N・m）
- 導通確認は可変式温度調節器の端子（1、2）にテスターなどの機器にて行ってください。
- 導通確認する際は、内部機器の端子台、可変式温度調節器に傷が付かないようにご注意ください。

【導通確認】
1. 可変式温度調節器の端子（１、２）にテスターなどを接触させてください。
2. 温度設定ダイヤルを 0℃→60℃または 60℃→0℃に回転させたときの導通を確認します。もし、導通がない場合、接点間に異物が挟まっているか、故障しているおそれがあります。

【接点方式の確認】
1. 可変式温度調節器の端子（1、2）にテスターなどを接触させてください。
2. 温度設定ダイヤルを 0℃に設定します。このとき端子間は導通があり ON 状態となっています。

   ご注意 本体近傍の温度が氷点下の場合、導通がない場合があります。常温で確認してください。
3. 温度設定ダイヤルの設定を 0℃からゆっくり上げます（右に回す）。本体近傍温度＋約 7℃で導通がなくなり OFF 状態となります。
4. OFF 状態より温度設定ダイヤルの温度をゆっくり下げます（左に回す）。本体近傍温度付近で再び ON 状態となります。

■換気扇付ステンレス製ルーバーの保守点検

保守点検時は、ファン動作を点検する場合を除き必ず電源を OFF にし、ファンの羽根の回転が停止してから行ってください。

●フィルタの交換方法

フィルタは定期的に交換または清掃を行ってください。
フィルタは 1 ヵ月に 1 度以上清掃し、1 年間使用したものは交換することをおすすめします。
なお、交換用フィルタはオプション部品より別途ご用命ください。（P.12「■オプション」を参照）

【キャビネット外側から交換する場合】(図 3)

1. 遮光板を取外してください。(P.9「■遮光板の取外方法」を参照)
2. ルーバー取付ねじ M4×8 を取外してください。
3. ルーバーを上側へスライドさせて取外してください。
4. サブルーバーを上側へスライドさせて取外してください。
5. フィルタを取外し、新しいフィルタと交換してください。
6. 逆の手順にて、サブルーバー、ルーバー、ルーバー取付ねじをドアに取付けてください。

ご注意

- ルーバー取付ねじを紛失しないよう注意してください。
- フィルタ固定ばねを落とさないよう注意してください。
- フィルタ固定ばねの保持部(3 ヵ所)をケース内の底面と側面に平行に接触させ、所定の位置にガタツキなく取付けてください。(図 4)
- サブルーバーは裏表を確認の上、ルーバーの膨らみがキャビネット内側向きになるように取付けてください。
- ルーバー、サブルーバーの突起部をケースの引掛部に挿入して取付けてください。

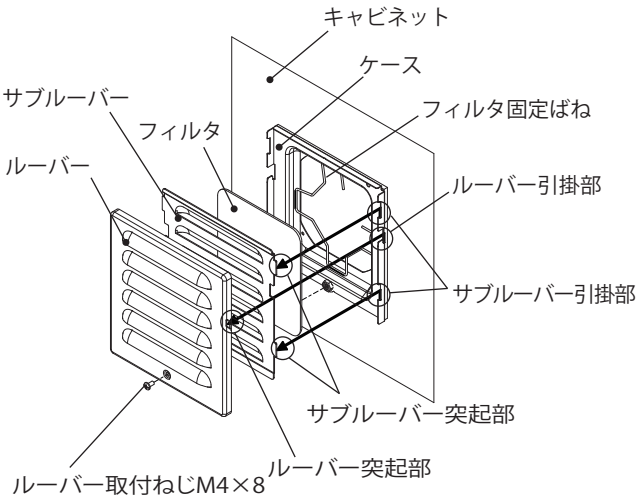


図 3 キャビネット外側交換

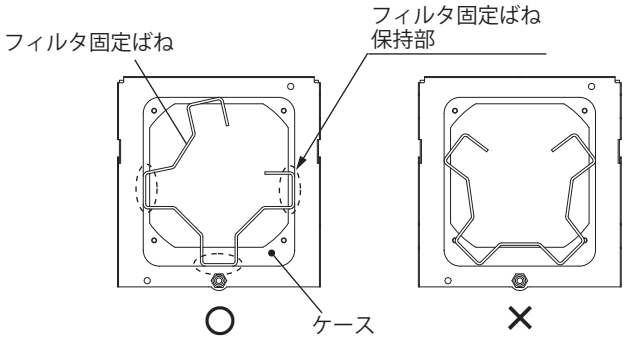


図 4 ファン固定ばねの取付位置
(キャビネット外側)

【キャビネット内側から交換する場合】

1. ファン付の場合、ファン取付ねじ M4×50 を取外し、ファンとフィンガーガードを取外してください。(図 5)
2. フィルタ固定ばねの矢印部を押えてケースから取外してください。(図 6)
3. ケースの開口部よりフィルタを取外し、新しいフィルタと交換してください。
4. 逆の手順にて、フィルタ固定ばね、ファン、フィンガーガード、ファン取付ねじを取付けてください。

ご注意

- フィルタを取付ける際は、フィルタに膨らみやしわが生じないよう、ケースの隅まで均一に取付けてく ださい。
- フィルタ固定ばねを落とさないよう注意してください。
- フィルタ固定ばねの保持部(3 ヵ所)をケース内の底面と側面に平行 に接触させ、所定の位置にガタツキなく取付けてください。(図 6)

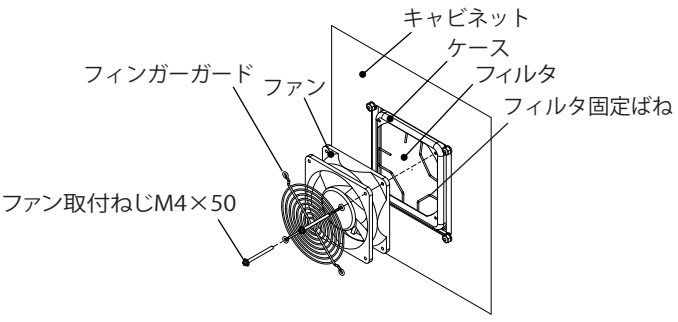


図 5 キャビネット内側交換

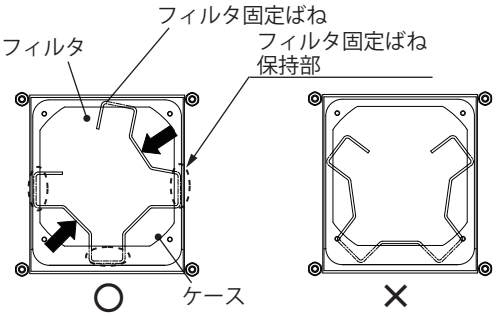


図 6 フィルタ固定ばねの取付位置
(キャビネット内側)

⚠注意

取付けに際して、ねじを適正締付トルクにて締付けてください。
ねじの締付けが不十分な場合、落下・破損・所定の IP 性能が得られないなどの原因になります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
ルーバー取付ねじM4×8	1.5〜1.8
ファン取付ねじM4×50	

●フィルタの清掃方法

以下のいずれかの方法にてフィルタ清掃を行ってください。

・圧縮空気による吹付け。

・掃除機による清掃。

・水槽内での押し洗い。

①中性洗剤 5%、湯 95%（湯は約 40℃）の溶液を準備してください。

②フィルタを溶液の中に 24 時間浸漬してください。

③溶液の中で、手で押しながら洗ってください。

④溶液からフィルタを取出し、清水ですすいでください。

⑤フィルタを自然乾燥させてください。

●ファンの交換方法

ファンは寿命がありますので定期的に交換を行ってください。

ファンを交換する目安は、常温の連続運転で約 40,000 時間（約 4 年半）です。

ご注意　ファンの風向に注意してください。風向、羽根の回転方向はファン側面に表示してあります。
なお、交換用ファンはオプション部品より別途ご用命ください。

■オプション

【交換用フィルタ】

品名記号	外形寸法 mm			材質	除塵率 %	一梱入数
	ヨコ	タテ	フカサ			
SLS-F17A	122.5	136.5	12	ポリエステル	80	5 枚

【交換・後付用ファン（防湿タイプ）】

品名記号	外形寸法 mm			定格電圧 単相 V	入力端子	一梱入数
	ヨコ	タテ	フカサ			
PF-125H-M	120	120	38	AC100	リード線（1m）	1 コ

施工業者名	
TEL	施工年月日　　年　　月　　日

警告表示がかすれたり、破損した場合は、警告ラベルの発注をお願いします。
仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がありましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。
この説明書の内容は 2015 年 4 月現在のものです。

B929061922
SK-125B

日東工業株式会社
© NITTO KOGYO CORPORATION

〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地
お客様相談室／TEL（0561）64-0152
http://www.nito.co.jp